

2020. 12. 1

歴史民俗資料館だより No.137

長崎市歴史民俗資料館

〒852-8117 長崎市平野町7番8号

TEL (095) 847-9245 (FAX 兼用)

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/820000/828000/p009251.html>

新春展

会期 令和2年12月10日(木)～

令和3年3月21日(日)

展示品 丑年の郷土玩具、貴名受、掛軸、
屏風、ひな人形など 約 50 点

はじめに

令和3年の十干十二支(干支)は「辛丑」で、
第二番目に数えられる干支です。

「丑」という文字は、動物の「牛」を意味し、昔から、農作業や物を運ぶときの労働力として人間の生活に欠かせない動物で、勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、身近にいる縁起の良い動物とされています。また、丑年は「発展の前振(芽が出る)」を表す年になると言われ、牛は、人々との間を「結ぶ」存在という意味も込められ、「神の使い」とも考えられています。

今回は、そのような輝かしい丑年の新春展にふさわしい資料を展示しています。展示に際して、貴重な資料を御提供いただきました関係者各位に深く御礼申し上げます。



祇園さんの牛(長崎市)

中村俊明氏 寄贈



丑年に因んだ郷土玩具

中村俊明氏 寄贈



弓野人形 恵比寿・大黒柱掛

昭和 24(1949)年



中西耕石筆

花卉山水貼混屏風

六曲一双

幕末期

松尾学氏 寄贈



おおたきうざん
大滝雨山筆 富士に松之図
昭和5(1930)年 坂 エイ子氏寄贈



さいとうしゅう ほひつ
斎藤秋圃筆 大黒・布袋図
江戸時代後期 安田 功氏寄贈



長崎有力商店めぐり (すごろく)
昭和8(1933)年 個人蔵



林 道栄筆 六曲一双屏風(左隻)
江戸時代 中期



林 道栄筆 六曲一双屏風(右隻)
江戸時代 中期